



オンライン診断

- 「オンライン診断機能の前提条件」(P.15-1)
- 「オンライン診断の制約事項」(P.15-1)
- 「オンライン診断について」(P.15-2)
- 「オンライン診断のデフォルト設定」(P.15-2)
- 「オンライン診断の設定方法」(P.15-2)
- 「オンライン診断テストの実行方法」(P.15-6)
- 「メモリ テストの実行方法」(P.15-24)



(注)

- この章で使用しているコマンドの構文および使用方法の詳細については、次の資料を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11846/prod_command_reference_list.html

- Cisco IOS Release 15.1SY は、イーサネット インターフェイスだけをサポートしています。
Cisco IOS Release 15.1SY は、WAN 機能またはコマンドをサポートしていません。



ヒント

Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチの詳細（設定例およびトラブルシューティング情報を含む）については、次のページに示されるドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/tsd_products_support_series_home.html

技術マニュアルのアイデア フォーラムに参加する

オンライン診断機能の前提条件

なし。

オンライン診断の制約事項

なし。

オンライン診断について

オンライン診断では、動作中のネットワークにスイッチが接続されている間に、スイッチのハードウェア機能についてテストし、確認することができます。

オンライン診断には、個別のハードウェア コンポーネントを確認して、データ パスおよび制御信号を検証するパケット スイッチング テストが含まれます。これには、中断を伴うオンライン診断テスト (Built In Self Test (BIST) や破壊モードのループバック テストなど) と中断を伴わないオンライン診断テスト (パケット スイッチング、ブートアップ中の実行、モジュールの活性挿抜 (OIR)、システム リセット) があります。中断を伴わないオンライン診断テストは、バックグラウンドヘルス モニタリングの一部として実行されます。中断を伴うテストまたは中断を伴わないテストは、ユーザ要求により (オンデマンドで) 実行できます。

オンライン診断では、次の分野の問題が検出されます。

- ハードウェア コンポーネント
- インターフェイス (GBIC、イーサネット ポートなど)
- コネクタ (コネクタのゆるみ、曲がったピンなど)
- はんだ接合
- メモリ (年数経過による故障)

オンライン診断は、ハイ アベイラビリティ機能要件の 1 つです。ハイ アベイラビリティは、装置の故障によるネットワークへの影響を制限しようとする、一連の品質規格です。ハイ アベイラビリティの重要な要素は、アクティブ ネットワークでスイッチが動作しているときに、ハードウェア障害を検出して対策をとることです。ハイ アベイラビリティのオンライン診断では、ハードウェア障害を検出して、スイッチオーバーを判断するためにハイ アベイラビリティ ソフトウェアにフィードバックします。

オンライン診断はブートアップ、オンデマンド、スケジュール、またはヘルス モニタリング診断に分類されます。ブートアップ診断は、ブートアップ中に実行します。オンデマンド診断は CLI から実行します。スケジュール診断は、スイッチが稼働中のネットワークに接続している状態で、ユーザが指定した間隔や指定した時間に実行します。ヘルス モニタリング診断はバックグラウンドで実行します。

オンライン診断のデフォルト設定

付録 A 「オンライン診断テスト」の各テストのデフォルト情報を参照してください。

オンライン診断の設定方法

- 「起動オンライン診断レベルの設定」 (P.15-3)
- 「オンデマンド オンライン診断の設定」 (P.15-3)
- 「オンライン診断のスケジューリング」 (P.15-5)

起動オンライン診断レベルの設定

起動診断レベルは最小または完全として設定できます。または起動オンライン診断をまったく実行しないこともできます。すべての診断テストを実行するには、**complete** キーワードを入力します。スイッチのすべてのポートに対し、EARL テストとループバック テストだけを実行するには、**minimal** キーワードを入力します。すべての診断テストを省略するには、コマンドの **no** 形式を入力します。起動診断レベルのデフォルトは最小です。

起動診断レベルを設定するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router(config)# diagnostic bootup level {minimal complete}	起動診断レベルを設定します。

次に、起動オンライン診断レベルを設定する例を示します。

```
Router(config)# diagnostic bootup level complete
Router(config)#
```

次に、起動オンライン診断レベルを表示する例を示します。

```
Router(config)# show diagnostic bootup level
Current bootup diagnostic level: complete
```

```
Router(config)#
```

オンデマンド オンライン診断の設定

CLI からオンデマンド オンライン診断テストを実行できます。障害が検出された場合にテストを停止または継続するように、あるいは障害カウントを使用して特定の障害数に達した場合にテストを停止するように、実行アクションを設定できます。反復設定を使用して、複数回テストを実行するように設定できます。

メモリ テストの前にパケット スイッチング テストを実行してください。



(注) 次に示すすべてのステップを完了するまで、**diagnostic start all** コマンドは使用しないでください。

一部のオンデマンド オンライン診断テストは、他のテストの結果に影響を及ぼすことがあります。したがって、各テストは次の順序で実行する必要があります。

1. 中断を伴わないテストを実行します。
2. 関連する機能分野に含まれるすべてのテストを実行します。
3. TestTrafficStress テストを実行します。
4. TestEobcStressPing テストを実行します。
5. 完全メモリ テストを実行します。

オンデマンド オンライン診断テストを実行するには、次の作業を行います。

ステップ 1 中断を伴わないテストを実行します。

使用可能なテストとその属性を表示し、中断を伴わないカテゴリに属するコマンドを判別するには、**show diagnostic content** コマンドを使用します。

ステップ 2 関連する機能分野に含まれるすべてのテストを実行します。

パケット スイッチング テストは、それぞれ特定の機能分野に分類されます。特定の機能分野で問題の発生が疑われる場合は、この機能分野に含まれるすべてのテストを実行します。テストに必要な機能分野を明確に特定できない場合、または使用可能なすべてのテストを実行するには、**complete** キーワードを入力します。

ステップ 3 TestTrafficStress テストを実行します。

これは、中断を伴うパケット スイッチング テストです。このテストでは、ストレス テストとして、一組のポート間でパケットをラインレートでスイッチングします。このテストの実行中、すべてのポートはシャットダウンされ、リンク フラップが生じることもあります。リンク フラップは、テストの完了後に回復します。このテストの完了には数分かかります。

このテストを実行する前に、**no diagnostic monitor module number test all** コマンドを使用して、すべてのヘルス モニタリング テストをディセーブルにします。

ステップ 4 TestEobcStressPing テストを実行します。

これはディスラプティブ テストであり、モジュールの Ethernet over Backplane Channel (EOBC) 接続をテストします。このテストの完了には数分かかります。このテストの実行後は、上記の各ステップに示したすべてのパケット スイッチング テストが実行できなくなります。ただし、このテストの実行後も、これ以降に説明する各テストは実行できます。

このテストを実行する前に、**no diagnostic monitor module number test all** コマンドを使用して、すべてのヘルス モニタリング テストをディセーブルにします。このテスト中は EOBC 接続が中断されるため、ヘルス モニタリング テストが失敗し、回復アクションが実行されます。

ステップ 5 完全メモリ テストを実行します。

完全メモリ テストを実行する前に、すべてのヘルス モニタリング テストをディセーブルにする必要があります。これは、ヘルス モニタリングがイネーブルになっているとテストが失敗し、回復アクションが実行されてしまうためです。ヘルス モニタリング診断テストをディセーブルにするには、**no diagnostic monitor module number test all** コマンドを使用します。

完全メモリ テストは、次の順序で実行します。

1. TestFibTcamSSRAM
2. TestAclQosTcam
3. TestNetFlowTcam
4. TestAsicMemory
5. TestAsicMemory

完全メモリ テストの実行後はスイッチを再起動して、動作可能な状態に戻す必要があります。完全メモリ テストの実行後は、スイッチ上で他のテストをすべて実行できなくなります。設定値はテスト中に変更されているため、再起動時に設定を保存しないでください。リポート後は、**diagnostic monitor module number test all** コマンドを使用して、ヘルス モニタリング テストを再度イネーブルにします。

起動診断レベルを設定するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router# diagnostic ondemand {iteration iteration_count} {action-on-error {continue stop} [error_count]}	実行するオンデマンド診断テスト、実行回数 (反復)、エラーを検出したときに実行する処置を設定します。

次に、オンデマンド テスト反復カウントを設定する例を示します。

```
Router# diagnostic ondemand iteration 3
Router#
```

次に、エラーを検出したときに実行する処置を設定する例を示します。

```
Router# diagnostic ondemand action-on-error continue 2
Router#
```

オンライン診断のスケジューリング

オンライン診断は、1 日のうち指定した時間、毎日、毎週、または毎月実行するよう、スケジューリングできます。あるインターバルで 1 回だけ、または繰り返しテストを実行するようスケジューリングできます。スケジューリングを削除するには、コマンドの **no** 形式を入力します。

オンライン診断をスケジューリングするには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router(config)# diagnostic schedule module <i>number</i> test { <i>test_id</i> <i>test_id_range</i> all } [port { <i>num</i> <i>num_range</i> all }] { on <i>mm dd yyyy hh:mm</i> } { daily <i>hh:mm</i> } { weekly <i>day_of_week hh:mm</i> }	特定の日時に特定のモジュールでオンデマンド診断テストを実行すること、および、その実行（反復）回数と、エラー検出時に行われるアクションについて、スケジューリングします。

次に、モジュール 1 の特定のポートについて、特定の日時に診断テストを実行するようスケジューリングする例を示します。

```
Router(config)# diagnostic schedule module 1 test 1,2,5-9 port 3 on january 3 2003 23:32
Router(config)#
```

次に、特定のポートについて、毎日一定の時間に診断テストを実行するようスケジューリングする例を示します。

```
Router(config)# diagnostic schedule module 1 test 1,2,5-9 port 3 daily 12:34
Router(config)#
```

次に、特定のポートについて、毎週一定の曜日に診断テストを実行するようスケジューリングする例を示します。

```
Router(config)# diagnostic schedule module 1 test 1,2,5-9 port 3 weekly friday 09:23
Router(config)#
```

ヘルス モニタリング診断の設定

スイッチが稼働中のネットワークに接続している間に、ヘルス モニタリング診断テストを設定できます。ヘルス モニタリング診断テストの実行間隔と、テストに障害が発生したときにシステムメッセージを生成する、あるいは各テストをイネーブルまたはディセーブルにするように設定できます。テストをディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を入力します。

ヘルス モニタリング診断テストを設定するには、次の作業を行います。

	コマンド	目的
ステップ1	Router(config)# diagnostic monitor interval module number test {test_id test_id_range all} [hour hh] [min mm] [second ss] [millisec ms] [day day]	指定のテストに対し、ヘルス モニタリングの実行間隔を設定します。このコマンドの no 形式は、間隔をデフォルトまたは 0 に変更します。
ステップ2	Router(config)# [no] diagnostic monitor module number test {test_id test_id_range all}	ヘルス モニタリング診断テストをイネーブルまたはディセーブルにします。

次に、モジュール 1 で 2 分ごとに指定されたテストを実行するように設定する例を示します。

```
Router(config)# diagnostic monitor interval module 1 test 1 min 2
Router(config)#
```

次に、ヘルス モニタリングがそれまでイネーブル状態でない場合に、テストを実行する例を示します。

```
Router(config)# diagnostic monitor module 1 test 1
```

次に、ヘルス モニタリング テストが失敗したときに Syslog メッセージを生成する例を示します。

```
Router(config)# diagnostic monitor syslog
Router(config)#
```

オンライン診断テストの実行方法

- 「診断テストの実行の概要」(P.15-7)
- 「オンライン診断テストの開始または停止」(P.15-7)
- 「すべてのオンライン診断テストの実行」(P.15-8)
- 「オンライン診断テストおよびテスト結果の表示」(P.15-8)

診断テストの実行の概要

オンライン診断を設定したあと、診断テストを開始または停止したり、またはテスト結果を表示したりできます。どのテストが設定され、どの診断テストがすでに実行されたかも、参照できます。

- オンライン診断テストをイネーブルにする前に、ロギング コンソール/モニタをイネーブルにして、すべての警告メッセージを確認します。
- 中断を伴うテストを実行している場合、コンソールを介して接続されたらテストを実行します。中断を伴うテストが完了すると、コンソールにシステムをリロードして通常の動作に戻すよう指示するメッセージが表示されます。この警告に従ってください。
- テストの実行中、すべてのポートはシャットダウンされます。負荷テストが内部でループするよう設定されたポートを使用して行われるためです。外部トラフィックによってテスト結果が変わることがあります。スイッチを正常な稼働に戻すために、スイッチをリロードしなければなりません。スイッチをリロードするコマンドを入力すると、コンフィギュレーションを保存するかどうかを聞かれます。コンフィギュレーションは保存しないでください。
- スーパーバイザ エンジン上でテストを実行している場合、テストの開始および終了後に、システム全体のリロードまたは電源のオフ/オンを行う必要があります。
- スイッチング モジュール（スーパーバイザ エンジンではなく）上でテストを実行している場合、テストの開始および終了後に、スイッチング モジュールをリセットする必要があります。

オンライン診断テストの開始または停止

実行する診断テストを設定したあと、診断テストを開始または停止するには **start** および **stop** を使用します。オンライン診断コマンドを開始または停止するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router# diagnostic start module number test { <i>test_id</i> <i>test_id_range</i> minimal complete basic per-port non-disruptive all } [port { <i>num</i> <i>port#_range</i> all }]	指定したモジュールのポートまたはポート範囲で、診断テストを開始します。
Router# diagnostic stop module number	指定したモジュールで診断テストを停止します。

次に、モジュール 1 で診断テストを開始する例を示します。

```
Router# diagnostic start module 1 test 5
Module 1:Running test(s) 5 may disrupt normal system operation
Do you want to run disruptive tests? [no]yes
00:48:14:Running OnDemand Diagnostics [Iteration #1] ...
00:48:14:%DIAG-SP-6-TEST_RUNNING:Module 1:Running TestNewLearn{ID=5} ...
00:48:14:%DIAG-SP-6-TEST_OK:Module 1:TestNewLearn{ID=5} has completed successfully
00:48:14:Running OnDemand Diagnostics [Iteration #2] ...
00:48:14:%DIAG-SP-6-TEST_RUNNING:Module 1:Running TestNewLearn{ID=5} ...
00:48:14:%DIAG-SP-6-TEST_OK:Module 1:TestNewLearn{ID=5} has completed successfully
Router#
```

次に、診断テストを停止する例を示します。

```
Router# diagnostic stop module 1
Router#
```

すべてのオンライン診断テストの実行

すべての診断テスト（中断を伴う診断テストおよび中断を伴わない診断テスト）を 1 つのコマンドで同時に実行できます。この場合、すべてのテストの依存関係は自動的に処理されます。



(注)

- オンライン診断テストを実行すると通常のシステム動作が中断されます。**diagnostic start system test all** コマンドを完了したあと、システムをリセットします。
- システム テストの実行中は、モジュールやスーパーバイザの挿入、取り外し、電源切断を行わないでください。
- システム テストの実行中は、**diagnostic stop system test all** コマンド以外の診断コマンドを実行しないでください。
- トラフィックがバックグラウンドで実行されていないことを確認します。

すべてのオンライン診断テストを開始または停止するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
Router# diagnostic start system test all	すべてのオンライン診断テストを実行します。
Router# diagnostic stop system test all	すべてのオンライン診断テストの実行を停止します。

次に、すべてのオンライン診断テストを開始する例を示します。

```
Router# diagnostic start system test all
*****
* WARNING:
* 'diagnostic start system test all' will disrupt normal system
* operation. The system requires RESET after the command
* 'diagnostic start system test all' has completed prior to
* normal use.
*
* IMPORTANT:
* 1. DO NOT INSERT, OIR, or POWER DOWN Linecards or
* Supervisor while system test is running.
*
* 2. DO NOT ISSUE ANY DIAGNOSTIC COMMAND except
* "diagnostic stop system test all" while system test
* is running.
*
* 3. PLEASE MAKE SURE no traffic is running in background.
*****
Do you want to continue? [no]:
```

オンライン診断テストおよびテスト結果の表示

次の **show** コマンドを使用すると、設定されたオンライン診断テストを表示し、テスト結果を確認できます。

- **show diagnostic content**
- **show diagnostic health**

設定された診断テストを表示するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
show diagnostic {bootup level content [module num] events [module num] [event-type event-type] health ondemand settings result [module num] [detail] schedule [module num]}	オンライン診断のテスト結果を表示し、サポートされるテストスイートを一覧します。

次に、モジュール 6 に設定されたオンライン診断を表示する例を示します。

```
Router# show diagnostic content module 6
```

```
Module 6: Supervisor Engine 2T 10GE w/ CTS (Active)
```

```
Diagnostics test suite attributes:
```

- M/C/* - Minimal bootup level test / Complete bootup level test / NA
- B/* - Basic ondemand test / NA
- P/V/* - Per port test / Per device test / NA
- D/N/* - Disruptive test / Non-disruptive test / NA
- S/* - Only applicable to standby unit / NA
- X/* - Not a health monitoring test / NA
- F/* - Fixed monitoring interval test / NA
- E/* - Always enabled monitoring test / NA
- A/I - Monitoring is active / Monitoring is inactive
- R/* - Power-down line cards and need reload supervisor / NA
- K/* - Require resetting the line card after the test has completed / NA
- T/* - Shut down all ports and need reload supervisor / NA

ID	Test Name	Attributes	Test Interval	Thre- day hh:mm:ss.ms	shold
====	=====	=====	=====	=====	=====
1)	TestTransceiverIntegrity	***PD*X**I***	not configured		n/a
2)	TestLoopback	M*PD*X**I***	not configured		n/a
3)	TestActiveToStandbyLoopback	M*PDSX**I***	not configured		n/a
4)	TestL2CTSLoopback	M*PD*X**I***	not configured		n/a
5)	TestL3CTSLoopback	M*PD*X**I***	not configured		n/a
6)	TestScratchRegister	***N***A***	000 00:00:30.00		5
7)	TestNewIndexLearn	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
8)	TestDontConditionalLearn	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
9)	TestBpduTrap	M**D*X**I***	not configured		n/a
10)	TestMatchCapture	M**D*X**I***	not configured		n/a
11)	TestProtocolMatchChannel	M**D*X**I***	not configured		n/a
12)	TestMacNotification	M**NS***A***	000 00:00:15.00		10
13)	TestPortSecurity	M**D*X**I***	not configured		n/a
14)	TestIPv4FibShortcut	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
15)	TestL3Capture2	M**D*X**I***	not configured		n/a
16)	TestIPv6FibShortcut	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
17)	TestMPLSFibShortcut	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
18)	TestNATFibShortcut	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
19)	TestAclPermit	M**N***I***	000 00:00:15.00		10
20)	TestAclDeny	M**D*X**I***	not configured		n/a
21)	TestAclRedirect	M**N***I***	not configured		n/a
22)	TestRBAcl	M**N***I***	not configured		n/a
23)	TestQos	M**D*X**I***	not configured		n/a
24)	TestDQUP	M**D*X**I***	not configured		n/a
25)	TestL3VlanMet	M**D*X**I***	not configured		n/a
26)	TestIngressSpan	M**D*X**I***	not configured		n/a
27)	TestEgressSpan	M**D*X**I***	not configured		n/a
28)	TestNetflowShortcut	M**D*X**I***	not configured		n/a
29)	TestInbandEdit	M**D*X**I***	not configured		n/a

```

30) TestFabricInternalSnake -----> M**D*X**I***      not configured n/a
31) TestFabricExternalSnake -----> M**D*X**I***      not configured n/a
32) TestFabricVlanLoopback -----> M**N*X**I***      not configured n/a
33) TestTrafficStress -----> ***D*X**I**T      not configured n/a
34) TestL3TcamMonitoring -----> ***N***A***      000 00:00:15.00 10
35) TestFibTcam -----> ***D*X**IR**      not configured n/a
36) TestAclQosTcam -----> ***D*X**IR**      not configured n/a
37) TestEarlMemOnBootup -----> M**N*X**I***      not configured n/a
38) TestAsicMemory -----> ***D*X**IR**      not configured n/a
39) ScheduleSwitchover -----> ***D*X**I***      not configured n/a
40) TestFirmwareDiagStatus -----> M**N***I***      000 00:00:15.00 10
41) TestAsicSync -----> ***N***A***      000 00:00:15.00 10
42) TestUnusedPortLoopback -----> **PN***A***      000 00:01:00.00 10
43) TestNonDisruptiveLoopback -----> **PN***A***      000 00:00:10.00 10
44) TestFabricFlowControlStatus -----> ***N***I***      000 00:00:15.00 10
45) TestPortTxMonitoring -----> **PN***A***      000 00:01:15.00 5
46) TestOBFL -----> M**N***I***      000 00:00:15.00 10
47) TestCFRW -----> M*VN*X**I***      not configured n/a
48) TestLtlFpoeMemoryConsistency -----> ***N***A***      000 00:00:30.00 1
49) TestErrorCounterMonitor -----> ***N***A***      000 00:00:30.00 10
50) TestEARLInternalTables -----> ***N***A***      000 00:05:00.00 1

```

Router#

次に、モジュール 6 のオンライン診断結果を表示する例を示します。

Router# **show diagnostic result module 6**

Current bootup diagnostic level: minimal

Module 6: Supervisor Engine 2T 10GE w/ CTS (Active) SerialNo : SAD132602A6

Overall Diagnostic Result for Module 6 : PASS
Diagnostic level at card bootup: minimal

Test results: (. = Pass, F = Fail, U = Untested)

1) TestTransceiverIntegrity:

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      U  U  U  U  U

```

2) TestLoopback:

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      .  .  .  .  .

```

3) TestActiveToStandbyLoopback:

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      U  U  U  U  U

```

4) TestL2CTSLoopback:

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      .  .  .  .  .

```

```

5) TestL3CTSLoopback:

Port 1 2 3 4 5
-----
      . . . . .

6) TestScratchRegister -----> .
7) TestNewIndexLearn -----> .
8) TestDontConditionalLearn -----> .
9) TestBpduTrap -----> .
10) TestMatchCapture -----> .
11) TestProtocolMatchChannel -----> .
12) TestMacNotification -----> U
13) TestPortSecurity -----> .
14) TestIPv4FibShortcut -----> .
15) TestL3Capture2 -----> .
16) TestIPv6FibShortcut -----> .
17) TestMPLSFibShortcut -----> .
18) TestNATFibShortcut -----> .
19) TestAclPermit -----> .
20) TestAclDeny -----> .
21) TestAclRedirect -----> .
22) TestRBAcl -----> .
23) TestQos -----> .
24) TestDQUP -----> .
25) TestL3VlanMet -----> .
26) TestIngressSpan -----> .
27) TestEgressSpan -----> .
28) TestNetflowShortcut -----> .
29) TestInbandEdit -----> .
30) TestFabricInternalSnake -----> .
31) TestFabricExternalSnake -----> .
32) TestFabricVlanLoopback -----> .
33) TestTrafficStress -----> U
34) TestL3TcamMonitoring -----> .
35) TestFibTcam -----> U
36) TestAclQosTcam -----> U
37) TestEarlMemOnBootup -----> .
38) TestAsicMemory -----> U
39) ScheduleSwitchover -----> U
40) TestFirmwareDiagStatus -----> .
41) TestAsicSync -----> .
42) TestUnusedPortLoopback:

Port 1 2 3 4 5
-----
      U U U . .

43) TestNonDisruptiveLoopback:

Port 1 2 3 4 5
-----
      U U U U U

44) TestFabricFlowControlStatus -----> U
45) TestPortTxMonitoring:

Port 1 2 3 4 5
-----
      U U U U U

```

```

46) TestOBFL -----> .
47) TestCFRW:

    Device 1
    -----
        .

48) TestLtlFpoeMemoryConsistency ----> .
49) TestErrorCounterMonitor -----> .
50) TestEARLInternalTables -----> .

```

Router#

次に、モジュール 6 のオンライン診断結果の詳細を表示する例を示します。

Router# **show diagnostic result module 6 detail**

Current bootup diagnostic level: minimal

Module 6: Supervisor Engine 2T 10GE w/ CTS (Active) SerialNo : SAD132602A6

Overall Diagnostic Result for Module 6 : PASS
Diagnostic level at card bootup: minimal

Test results: (. = Pass, F = Fail, U = Untested)

1) TestTransceiverIntegrity:

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      U  U  U  U  U

```

```

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time ----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

2) TestLoopback:

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      .  .  .  .  .

```

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:25
First test failure time ----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:25

```

```
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

3) TestActiveToStandbyLoopback:

```
Port 1 2 3 4 5
-----
      U U U U U
```

```
Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

4) TestL2CTSLoopback:

```
Port 1 2 3 4 5
-----
      . . . . .
```

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:29
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:29
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

5) TestL3CTSLoopback:

```
Port 1 2 3 4 5
-----
      . . . . .
```

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:33
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:33
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

6) TestScratchRegister -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 8191
Last test testing type -----> Health Monitoring
Last test execution time ----> May 16 2011 21:42:41
```

```

First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 16 2011 21:42:41
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

7) TestNewIndexLearn -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:37
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:37
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

8) TestDontConditionalLearn -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:37
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:37
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

9) TestBpduTrap -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:37
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:37
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

10) TestMatchCapture -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:37
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:37
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

11) TestProtocolMatchChannel -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup

```

```
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:39
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:39
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
```

12) TestMacNotification -----> U

```
Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
```

13) TestPortSecurity -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:41
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:41
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
```

14) TestIPv4FibShortcut -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
```

15) TestL3Capture2 -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
```

16) TestIPv6FibShortcut -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
```

```

Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

17) TestMPLSFibShortcut -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

18) TestNATFibShortcut -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

19) TestAclPermit -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

20) TestAclDeny -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

21) TestAclRedirect -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)

```



```
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

22) TestRBAcl -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

23) TestQos -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

24) TestDQUP -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

25) TestL3VlanMet -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

26) TestIngressSpan -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

27) TestEgressSpan -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:43
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:43
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

28) TestNetflowShortcut -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:43
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:43
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

29) TestInbandEdit -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:43
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:43
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

30) TestFabricInternalSnake -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:43
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:43
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

31) TestFabricExternalSnake -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:43
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:43
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

32) TestFabricVlanLoopback -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:43
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:43
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

33) TestTrafficStress -----> U

```

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

34) TestL3TcamMonitoring -----> .

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 16382
Last test testing type -----> Health Monitoring
Last test execution time ----> May 16 2011 21:42:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 16 2011 21:42:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

35) TestFibTcam -----> U

```

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

```

36) TestAclQosTcam -----> U

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

-----

37) TestEarlMemOnBootup -----> .

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:44
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:44
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

-----

38) TestAsicMemory -----> U

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

-----

39) ScheduleSwitchover -----> U

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time ----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

-----

40) TestFirmwareDiagStatus -----> .

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:44
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:44
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0

```

```

41) TestAsicSync -----> .

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 16382
Last test testing type -----> Health Monitoring
Last test execution time -----> May 16 2011 21:42:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 16 2011 21:42:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0

```

```

42) TestUnusedPortLoopback:

```

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      U  U  U  .  .

```

```

Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 4261
Last test testing type -----> Health Monitoring
Last test execution time -----> May 16 2011 21:41:53
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 16 2011 21:41:53
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0

```

```

43) TestNonDisruptiveLoopback:

```

```

Port  1  2  3  4  5
-----
      U  U  U  U  U

```

```

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time -----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0

```

```

44) TestFabricFlowControlStatus -----> U

```

```

Error code -----> 3 (DIAG_SKIPPED)
Total run count -----> 0
Last test testing type -----> n/a
Last test execution time -----> n/a
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> n/a
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ----> 0
Current run count ----->: 0
First test execution time ----->:
Last test execution time ----->:

```

```
Total FPOE Rate0 Count ----->: 0
Total FPOE Reduced Rate Count ---->: 0
```

45) TestPortTxMonitoring:

```
Port 1 2 3 4 5
-----
      U U U U U
```

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 3419
Last test testing type -----> Health Monitoring
Last test execution time ----> May 16 2011 21:42:25
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 16 2011 21:42:25
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

46) TestOBFL -----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:44
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:44
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

47) TestCFRW:

```
Device 1
-----
      .
```

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 1
Last test testing type -----> Bootup
Last test execution time ----> May 13 2011 21:59:44
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 13 2011 21:59:44
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

48) TestLtlFpoeMemoryConsistency ----> .

```
Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
Total run count -----> 8191
Last test testing type -----> Health Monitoring
Last test execution time ----> May 16 2011 21:42:42
First test failure time -----> n/a
Last test failure time -----> n/a
Last test pass time -----> May 16 2011 21:42:42
Total failure count -----> 0
Consecutive failure count ---> 0
```

```

LTL PARITY
  Ltl index -----> 0
  Rbh value -----> 0

FPOE DB
  Table size -----> 0
  Last entries checked -----> 0
  Total fail count -----> 0
  Total correction count -----> 0
  Last detection time -----> May 13 2011 21:58:47
  Last result -----> UNKNOWN
  Last fail count -----> 0
  Last correction count -----> 0

```

```

49) TestErrorCounterMonitor -----> .

  Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
  Total run count -----> 8191
  Last test testing type -----> Health Monitoring
  Last test execution time ----> May 16 2011 21:42:42
  First test failure time -----> n/a
  Last test failure time -----> n/a
  Last test pass time -----> May 16 2011 21:42:42
  Total failure count -----> 0
  Consecutive failure count ---> 0
  Error Records -----> n/a

```

```

50) TestEARLInternalTables -----> .

  Error code -----> 0 (DIAG_SUCCESS)
  Total run count -----> 854
  Last test testing type -----> Health Monitoring
  Last test execution time ----> May 16 2011 21:38:38
  First test failure time -----> n/a
  Last test failure time -----> n/a
  Last test pass time -----> May 16 2011 21:38:38
  Total failure count -----> 0
  Consecutive failure count ---> 0

```

```

AGE GROUP
  Total CC run count -----> 860
  Table size -----> 16384
  Total fail count -----> 0
  Total correction count -----> 0
  Last completion time -----> May 16 2011 21:39:30
  Last result -----> PASS
  Last fail count -----> 0
  Last correction count -----> 0
  Last entries checked -----> 16384
  Consistency checker -----> ON

```

```

BUNDLE PORT MAP
  Total CC run count -----> 860
  Table size -----> 512
  Total fail count -----> 0
  Total correction count -----> 0
  Last completion time -----> May 16 2011 21:39:12
  Last result -----> PASS
  Last fail count -----> 0
  Last correction count -----> 0

```

```

Last entries checked -----> 512
Consistency checker -----> ON

BUNDLE EXTENSION MAP
Total CC run count -----> 860
Table size -----> 256
Total fail count -----> 0
Total correction count -----> 0
Last completion time -----> May 16 2011 21:39:12
Last result -----> PASS
Last fail count -----> 0
Last correction count -----> 0
Last entries checked -----> 256
Consistency checker -----> ON

VLAN ACCESS MODE MEMORY
Total CC run count -----> 860
Table size -----> 512
Total fail count -----> 0
Total correction count -----> 0
Last completion time -----> May 16 2011 21:39:12
Last result -----> PASS
Last fail count -----> 0
Last correction count -----> 0
Last entries checked -----> 512
Consistency checker -----> ON

```

Router#

次に、実行されたヘルス チェックの出力を表示する例を示します。

```

Router# show diagnostic health
Non-zero port counters for 6/4 -
13.                               linkChange = 8530

Non-zero port counters for 6/5 -
13.                               linkChange = 8530

Router#

```

メモリ テストの実行方法

大半のオンライン診断テストでは、特別なセットアップまたは設定は不要です。ただし、TestFibTcamSSRAM および TestLinecardMemory テストに付属のメモリ テストの場合、テストを実行する前に必須の作業や推奨される作業をいくつか行う必要があります。

オンライン診断メモリ テストを実行する前に、次の作業を行います。

- 必須作業
 - すべての接続ポートをディセーブルにして、ネットワーク トラフィックを分離します。
 - メモリ テスト中はテスト パケットを送信しないでください。
 - システムをユーザ動作モードに戻す前に、システムをリセットしてください。
- すべてのバックグラウンドヘルス モニタリング テストをディセーブルにするには、**no diagnostic monitor module number test all** コマンドを使用します。

診断の健全性チェックの実行方法

ネットワーク内の潜在的な問題領域を検出するため、診断の健全性チェックを実行できます。健全性チェックでは、想定される特定のシステム状態の組み合わせを使用した設定に対し、既定の一連のチェックを実行して、警告状況の一覧をコンパイルします。このチェックの目的は、不適切な状態の要素がないかどうかを調べ、システムの健全性を維持するための支援を行うことです。

診断の健全性チェックを実行するには、次の作業を行います。

コマンド	目的
<code>show diagnostic sanity</code>	設定および特定のシステム状態で一連のテストを実行します。

次に、`show diagnostic sanity` コマンドの結果として表示される可能性があるメッセージの例を示します。

```
Router# show diagnostic sanity
Pinging default gateway 10.6.141.1 ....
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.6.141.1, timeout is 2 seconds:
..!..
Success rate is 0 percent (0/5)

IGMP snooping disabled please enable it for optimum config.

IGMP snooping disabled but RGMP enabled on the following interfaces,
please enable IGMP for proper config :
Vlan1, Vlan2, GigabitEthernet1/1

Multicast routing is enabled globally but not enabled on the following
interfaces:
GigabitEthernet1/1, GigabitEthernet1/2

A programming algorithm mismatch was found on the device bootflash:
Formatting the device is recommended.

The bootflash: does not have enough free space to accomodate the crashinfo file.

Please check your confreg value : 0x0.

Please check your confreg value on standby: 0x0.

The boot string is empty. Please enter a valid boot string .
Could not verify boot image "disk0:" specified in the boot string on the
slave.

Invalid boot image "bootflash:asdasd" specified in the boot string on the
slave.

Please check your boot string on the slave.

UDLD has been disabled globally - port-level UDLD sanity checks are
being bypassed.
OR
[
The following ports have UDLD disabled. Please enable UDLD for optimum
config:
Gi1/22

The following ports have an unknown UDLD link state. Please enable UDLD
```

```
on both sides of the link:
Gi1/22
]

The following ports have portfast enabled:
Gi1/20, Gi1/22

The following ports have trunk mode set to on:
Gi1/1, Gi1/13

The following trunks have mode set to auto:
Gi1/2, Gi1/3

The following ports with mode set to desirable are not trunking:
Gi1/3, Gi1/4

The following trunk ports have negotiated to half-duplex:
Gi1/3, Gi1/4

The following ports are configured for channel mode on:
Gi1/1, Gi1/2, Gi1/3, Gi1/4

The following ports, not channeling are configured for channel mode
desirable:
Gi1/14

The following vlan(s) have a spanning tree root of 32768:
1

The following vlan(s) have max age on the spanning tree root different from
the default:
1-2

The following vlan(s) have forward delay on the spanning tree root different
from the default:
1-2

The following vlan(s) have hello time on the spanning tree root different
from the default:
1-2

The following vlan(s) have max age on the bridge different from the
default:
1-2

The following vlan(s) have fwd delay on the bridge different from the
default:
1-2

The following vlan(s) have hello time on the bridge different from the
default:
1-2

The following vlan(s) have a different port priority than the default
on the port gigabitEthernet1/1
1-2

The following ports have recieve flow control disabled:
Gi1/20, Gi1/22

The following inline power ports have power-deny/faulty status:
Gi1/1, Gi1/2

The following ports have negotiated to half-duplex:
Gi1/22

The following vlans have a duplex mismatch:
```

Gig 1/22

```
The following interafaces have a native vlan mismatch:
interface (native vlan - neighbor vlan)
Gig 1/22 (1 - 64)
```

The value for Community-Access on read-only operations for SNMP is the same as default. Please verify that this is the best value from a security point of view.

The value for Community-Access on write-only operations for SNMP is the same as default. Please verify that this is the best value from a security point of view.

The value for Community-Access on read-write operations for SNMP is the same as default. Please verify that this is the best value from a security point of view.



ヒント Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチの詳細（設定例およびトラブルシューティング情報を含む）については、次のページに示されるドキュメントを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps708/tsd_products_support_series_home.html

技術マニュアルのアイデア フォーラムに参加する
